

2026年 粳水分の状況

気象庁発表の1か月予報では今後高温が予報されています。
高温時には玄米の成熟よりも帯緑色粳の減少が遅れることがあるため、刈り遅れないよう粳水分を確認し、25%になったら収穫を開始しましょう。

6月5日植「彩のきずな」の9月17日（出穂後37日）現在の状況

- ・粳水分は24.6%と25%を下回り、出穂期～測定前日までの登熟積算気温は907℃と収穫適期の目安に達しています。
- ・写真のとおり玄米の登熟は進んでいます。
- ・曇雨天が続き、今後もしばらく曇雨天が予報されており、ほ場が乾きにくい条件となっています。このため、雨水が滞水していないか排水溝の詰まりなどほ場を確認するとともに、天気予報をこまめに確認し、収穫適期を逸しないよう収穫作業を行いましょう。降雨後は、粳や茎葉が乾いてから収穫作業を実施し、倒伏や登熟ムラの大きい箇所は刈り分けを行いましょう。

* 情報提供は今回で終了します。

粳水分測定結果(玉井試験場内ほ場)

移植期・品種	出穂期		測定日			
			9月7日	9月10日	9月14日	9月17日
6月5日植 彩のきずな	8月11日	出穂後日数(日)	27	30	34	37
		出穂期～測定前日までの積算気温(℃)	676	748	835	907
		粳水分(%)	29.2	27.8	25.7	24.6
		帯緑粳割合(%)	76	59	34	21

*(参考)普通期栽培「彩のきずな」の収穫適期の目安
登熟積算気温900～1100℃、帯緑粳割合30～10%



○6月5日植「彩のきずな」、出穂後37日(9月17日)の玄米(篩目1.8mm)